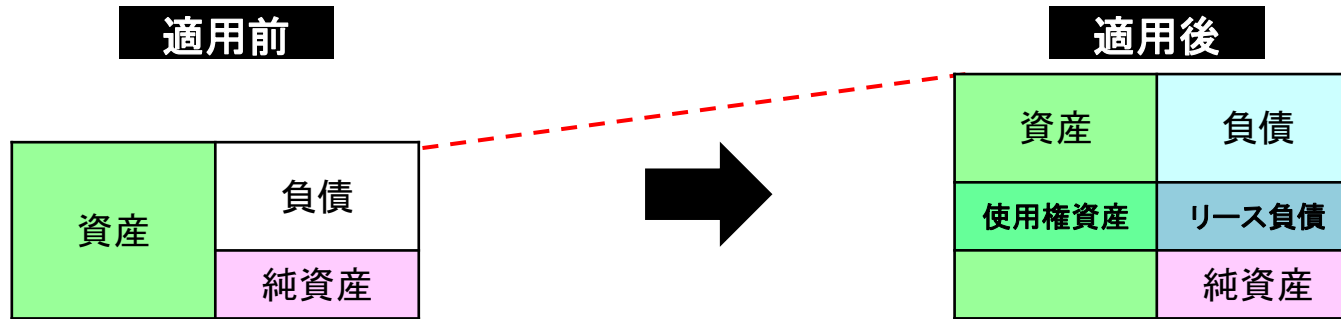


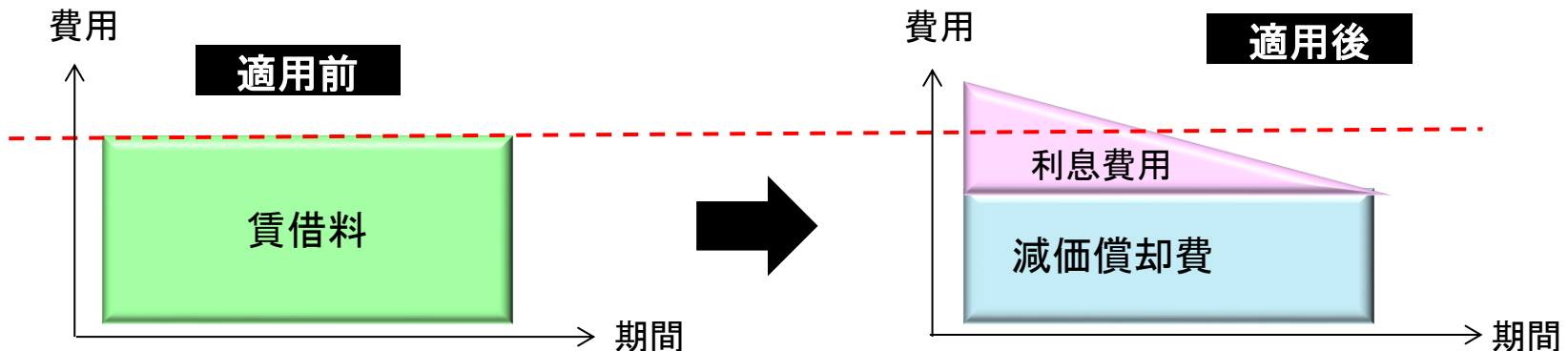
新リース会計基準(IFRS16号)適用について

- 2019年度より、IFRSに準拠する在外子会社において強制適用。
- 主な対象リース契約は不動産賃借契約(サイアム・タカシマヤは歩合家賃契約の為、適用外)。
- 契約で定められた合理的で確実なリース期間をもとに適用初年度の使用权資産を算定。

【B/S イメージ図】 ・借手のオペレーティングリース使用权資産およびリース負債としてB/S計上

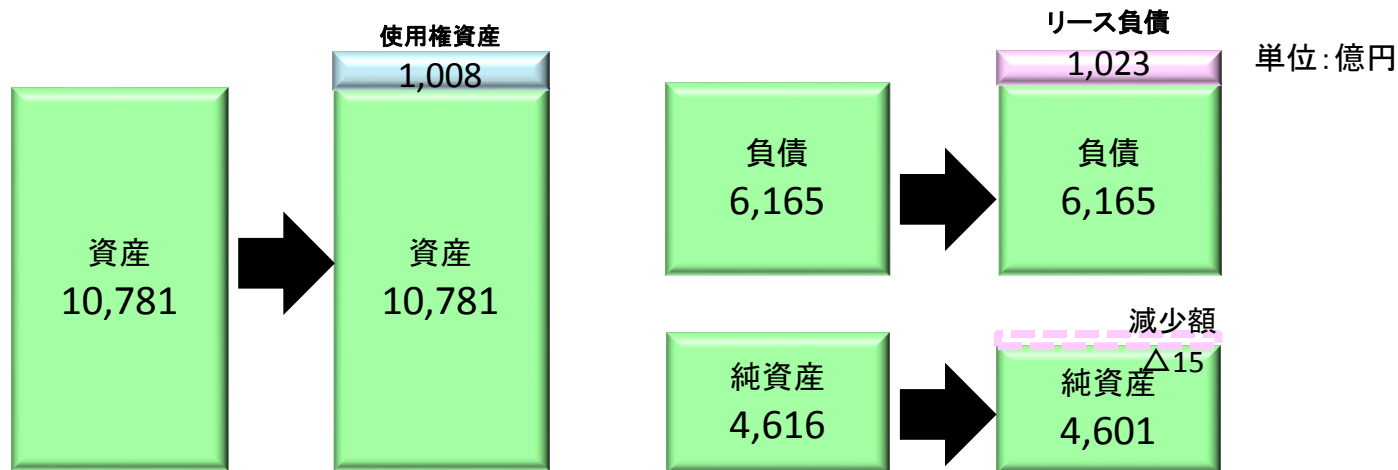


- 【P/L イメージ図】
- ・使用权資産は定額法で減価償却費を計上、リース負債は利息費用を計上
 - ・使用权資産は将来支払家賃を現在価値に割引計上する為、減価償却費は従来家賃より減少
⇒**営業利益増**
 - ・利息費用は営業外費用で認識。リース負債残高(リース負債はリース料の支払に伴い減少)に金利を乗じて計上。リース期間前半は費用が大きく、リース期間経過につれ減少。
⇒**経常利益への影響は変動**



【B/S 影響額】

総資産
 約+1,000億円
自己資本比率
 41.2% → 37.7%
ROA
 2.8% → 2.5%
ROE
 4.8% → 4.4%

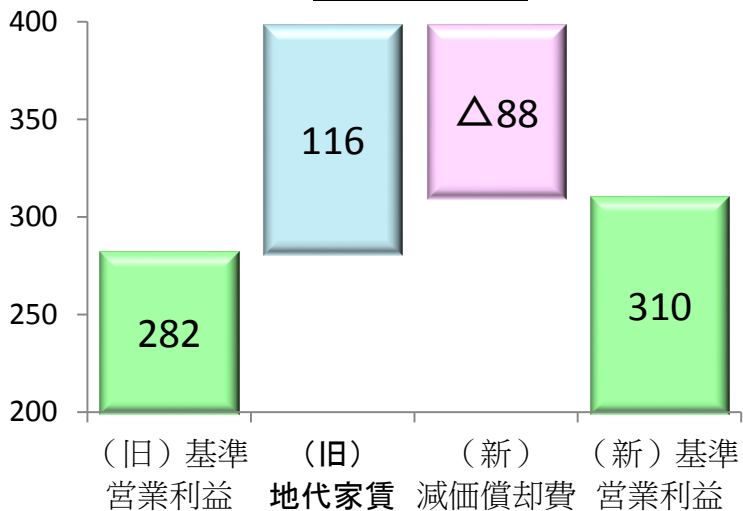


【P/L 影響額】

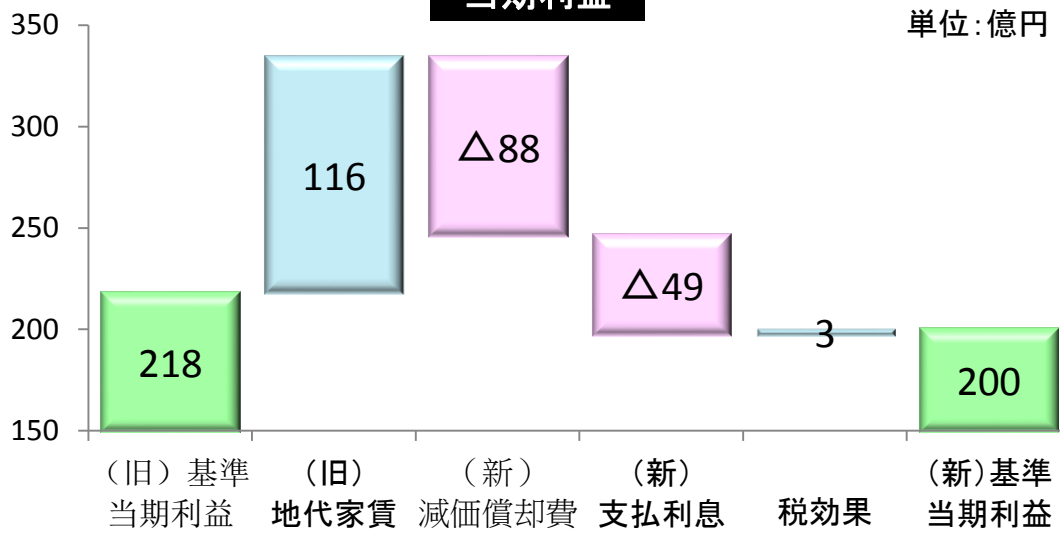
営業利益

当期利益

単位: 億円



営業利益+28億円



営業利益+28億円

経常利益△21億円

当期利益△18億円

※B/S影響額・自己資本比率は2019年度期首
 P/L影響額・ROA,ROEは2019年度 で試算

参 考

IFRS第16号適用影響額

連結収支計画

従来基準（IFRS第16号影響を除く）

(単位：億円)	従来基準（IFRS第16号影響を除く）			従来基準（IFRS第16号影響を除く）		
	上期計画	前年比		通期計画	前年比	
営業収益	4,580	+ 165	+3.7%	9,420	+ 292	+3.2%
販売管理費	1,310	+ 64	+5.2%	2,658	+ 92	+3.6%
営業利益	131	△3	△2.5%	282	+ 15	+5.6%
経常利益	146	△16	△9.7%	311	△2	△0.6%
純利益	134	+ 46	+52.8%	218	+ 54	+32.6%

影響額

影響額	
上期	通期
0	0
△ 14	△ 28
+14	+28
△ 11	△ 21
△ 9	△ 18

*従来基準からの増減額

会社別計画

従来基準（IFRS第16号影響を除く）

(単位：億円)	従来基準（IFRS第16号影響を除く）			従来基準（IFRS第16号影響を除く）		
	営業収益	前年比		営業利益	前年比	
タカシマヤ シンガポール	189	8	+4.2%	31	△ 1	△1.9%
トーシンディベロップメント シンガポール(TDS)	90	1	+1.0%	22	0	+2.0%
上海高島屋	34	2	+7.8%	△ 7	2	-
タカシマヤ ベトナム	20	2	+11.0%	△ 1	0	-
サイアムタカシマヤ	30	26	+826.4%	△ 3	2	-

影響額

影響額	
営業収益	営業利益
△ 11	+17
	+9
	+7
	+1

*従来基準からの増減額

※ サイアムタカシマヤ店舗は歩合家賃のため、IFRS16号の適用外